

まちづくり交付金 事後評価シート
恵那中央地区

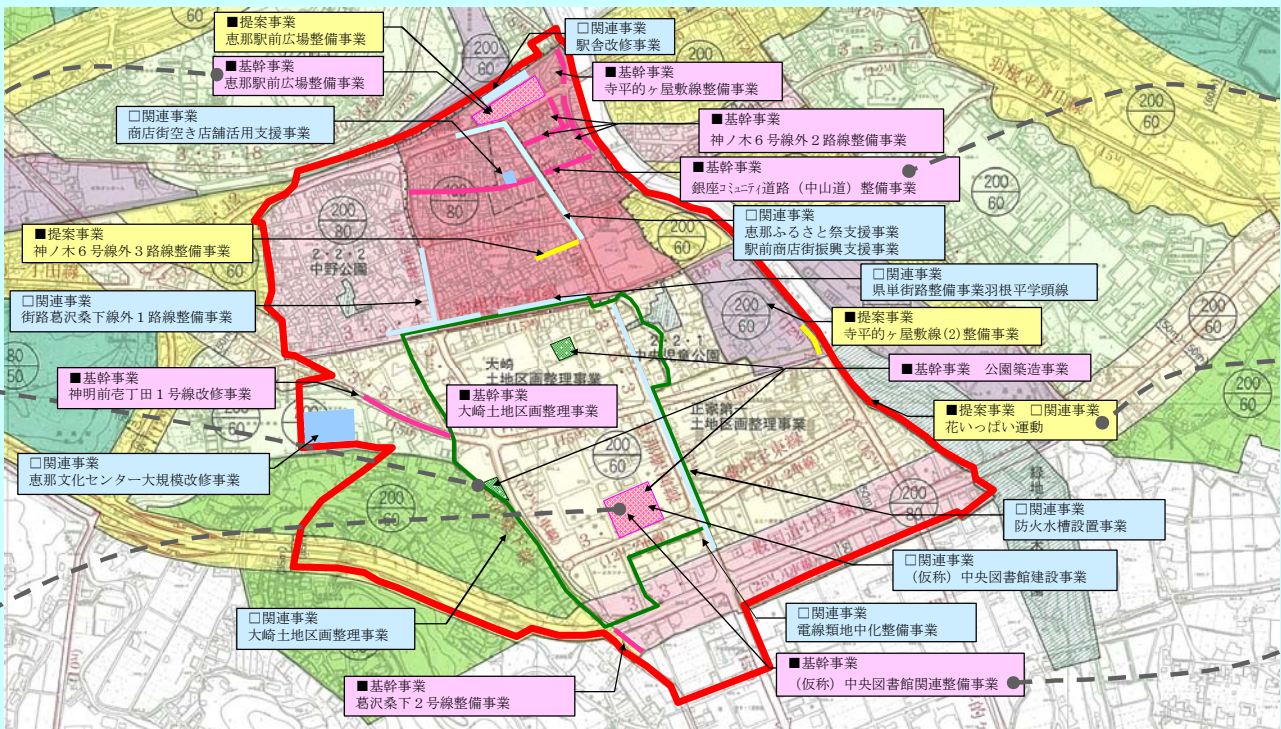
平成22年3月

岐阜県恵那市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県		市町村名	恵那市		地区名	恵那中央地区			面積	91		
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,634百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名										
			道路事業(寺平的ヶ屋敷線、銀座コミュニティ道路、神明前寺下田1号線) 地域生活基盤施設((仮称)1号公園ほか) 高質空間形成施設(銀座コミュニティ道路、恵那駅前広場) 土地区画整理事業(大崎地区)										
		提案事業	地域創造支援事業(花いっぱい運動、寺平的ヶ屋敷(2)整備事業、神ノ木6号線外3路線整備事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			道路事業((仮称)大崎線)		道路の単独整備ではなく、周辺地区の一体的な整備を行うことで、有効な土地利用が図れると考えられるため、事業手法の再検討を行うこととなったため			事業の削除により、「目標3」の歩道の確保について間接的な影響が考えられるが、指標及び数値目標は据え置く。					
	提案事業	地域創造支援事業(監視カメラ設置事業)		市単独費による事業実施としたため事業を削除			影響なし						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業(葛沢桑下2号線、恵那駅前広場(市道267,268号線)) 高質空間形成施設(羽平舟山3号線外3路線)		恵那バイパス(国道19号線)の4車化に伴い、市道部分の取付工事を施工するための追加、高質空間形成施設とともに、人に優しいバリアフリーの観点から、道路事業としての整備			影響なし					
			提案事業	地域創造支援事業((仮称)中央図書館関連整備、恵那駅前広場)事業活用調査(事業効果検証調査)		図書館建設にともなう関連施設整備、用地費追加、駅前広場の利便性の向上と安全安心なまちづくりを目指して、駅前広場改築のための変更			事業の追加により、「目標1」の魅力的な市街地形成について間接的な影響が考えられるが、指標及び数値目標は据え置く。				
	交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	地区内居住人口	人	2,688	H12	2,700	H21		2,490	×	あり なし ●	住宅基盤の整備により宅地面積は増加したが、商業系店舗の開発が進み人口増加に転じるまでには至らなかった。	H24. 2
	指標2	メイン通りの歩行者数(2箇所、2日間の合計)	人	8,308	H15	9,000	H21		5,173	×	あり なし ●	評価値は減少という結果となったが、各種整備により歩行者の移動ルートの変更が影響を及ぼしていると考えられる。	H22. 10
	指標3	大崎土地区画整理事業区域内の住宅・事業所の数	件	151	H16	200	H21		197	△	あり なし ●	大崎土地区画整理事業による道路網等の公共施設の整備・改善のほか、商業系店舗の立地などにより、地区内の住宅・店舗の立地が促進されたと考えられる。	H23. 10
	指標4	買物の利便性の満足度	点	0.59	H11	1.00	H21		0.10	×	あり なし ●	市全域を対象としたほか、平成16年の合併により市域が拡大したこともあり、整備した影響が反映されにくい状況となった。	H23. 3
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	地区内の人口1人当たりの商業用地面積	m ² /人	79.9	H15			84.1				各種住宅基盤や図書館・公園などの整備により、地区の居住環境が向上し、商業系店舗の立地が促進されたと考えられる。	H23. 3
	その他の数値指標2	段差や道幅など歩道の安全性に対する満足度	点	-1.58	H17			-1.46				銀座コミュニティ道路整備や電線類地中化により、街並み・景観の保全と整備に対する満足度の向上に繋がったと考えられる。	H23. 3
その他の数値指標3	地区内の買物の利便性に対する満足度(大井町・長島町)	点	1.29	H17			1.38				商業系店舗の立地など、地区内の土地の有効利用を図れたことが満足度の向上に繋がったと考えられる。	H23. 3	
4)定性的な効果発現状況	・銀座コミュニティ道路の整備については、魅力的な町並みが創出されたほか、以前あった段差が解消され、同時に安全かつ快適性が向上したと思われる。 ・大井町まちづくり協議会が平成19年度に発足したほか、「おおいしぶろく」など中山道に関する多くの団体が中山道を始めとする地域の活性化を図るため様々な地域活動を進めている。 ・市の中心部に商業店舗と図書館を始めとする公共施設が整備されたことにより、市民が買物と施設利用を一度に済ませることができるようになり、利便性が向上したと思われる。												
5)実施過程の評価	実施内容												
	モニタリング		なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後の対応方針等				
	住民参加プロセス		恵那駅前広場の整備にあたり、歩行者等と公共交通機関の旅客車両が相互に安全かつ円滑に有効利用できるよう、整備内容を検討することを目的に『恵那駅前広場利用検討委員会』を設置した		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●		今後も、整備段階から地域住民の参画が可能となるよう組織体制を検討していく。				
	持続的なまちづくり体制の構築		平成19年度に大井町まちづくり協議会(歴史・文化部会)が組織され、軒下飾りののれんの統一化など、地域住民主体による歴史的資源の活用が進められている。		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●		中山道を活用した大井町のまちづくりを推進していくほか、中山道を有するその他の地域との連携を計っていく。				

様式2-2 地区の概要

恵那中央地区(岐阜県恵那市) まちづくり交付金の成果概要					
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値
大目標:顔づくり えな(暮らしとにぎわいのあるまちづくり) ○目標1:本市の「顔」として、市民や来訪者でにぎわう魅力的な市街地を形成する。 ○目標2:中心市街地の拡大を図りながら、商業機能と住機能が調和した街とする。 ○目標3:道路ネットワークの形成を図るとともに歩道の確保など歩いて楽しめるまちづくりを推進する。		地区内居住人口	単位:人	2,688 H12	2,700 H21
		メイン通りの歩行者数(2箇所、2日間の合計)	単位:人	8,308 H15	9,000 H21
		大崎土地区画整理事業区域内の住宅・事業所の数	単位:件	151 H16	200 H21
		買物の利便性の満足度	単位:点	0.59 H11	1.00 H21
		地区内の人口1人当たりの商業用地面積	単位:㎡/人	79.9 H15	-
		段差や道幅など歩道の安全性に対する満足度	単位:点	-1.58 H17	-
		地区内の買物の利便性に対する満足度(大井町・長島町)	単位:点	1.29 H17	-
 ■恵那駅前広場整備事業  ■大崎公園(4号公園)  ■ふれあいひろば(1号公園)					
		 ■銀座コミュニティ道路(中山道)整備			
		 ■花いっぱい運動			
		 ■中央図書館			
まちの課題の変化		・大崎土地区画整理事業の施行に伴い、比較的大きな店舗が市街地に立地し、地区内の商業用地が増大した。 ・銀座コミュニティ道路(中山道)を景観に配慮した舗装改良や段差解消等を実施したことにより、魅力的な街並みや景観が形成された。 ・恵那駅前通りを始めとする主要な道路において、地域住民による花壇の設置が行われ、魅力的で美しい街並みが形成された。 ・寺平的ヶ屋敷線等の地区の主要な道路の歩道設置や拡幅整備及びカラー舗装化などにより、安全な歩行空間が形成された。 ・大崎土地区画整理事業による宅地の整形化や道路網等の公共施設の整備・改善のほか、商業系店舗の立地など、土地の有効利用を図ることができた。 ・恵那駅前広場のバリアフリー化や、交流拠点として中央図書館やふれあいひろばが整備されたことにより、誰もが安全で快適に利用可能な交流空間が形成された。 ・寺平的ヶ屋敷線においては、踏切改良も実施しており、踏切を挟んだ南北地区の移動円滑化が図られた。 ・土地区画整理事業により公共施設の整備等は行われたものの、土地区画整理事業区域内に未利用地が点在していることから、建築物の誘導など、土地の有効利用が必要である。 ・道路改良などにより、安全な歩行空間が成されたが、地区内の歩行者数の増加に繋がる取り組みを検討する必要がある。			
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		・恵那駅周辺部の比較的小さな店舗と地区南部の新たな店舗との連携を図る。 ・地区北部の町並み景観などの観光資源のほか、地区南部の店舗や図書館・公園・市役所などの公共施設など、多岐にわたる施設の集積により地区の利便性が向上したため、交流人口の増加を目指しPRを充実させる。 ・中央図書館を活用したイベントの開催や地域活動を推進する。 ・平成19年度に組織された大井町まちづくり協議会(歴史・文化部会)を中心に、軒下飾りののれんの統一化など、中山道を始めとする歴史的資源の保全・活用による地域活性化を図るとともに、JR中央線及び明知鉄道を活用した連携の強化による観光交流人口の増加を目指す。 ・整備された道路を中心に、歩行者が安心・安全に歩ける歩行者ネットワークの形成を図る。 ・地区内に残る狭い道路において、防犯灯の設置等の検討を行う。			